



平成30年度子育て講演会

食べていける大人に育てるために ～「訪問相談の現場から」～

開善塾教育相談研究所 所長 藤崎 育子 氏

5月13日に花巻市文化会館において、子育て講演会を開催しました。
全国の不登校・ひきこもりの子どもの訪問相談をしてきた実体験から、幼児期に大切にしたいことをお話していただきました。
藤崎先生から子育てを頑張るお父さん、お母さんに子育てのヒントをいただきました。

《親子で大切にしたいこと》

私は不登校やひきこもりの子ども達の訪問相談という仕事をしています。

小さなお子さんを育てているお母さんから「子どもが、将来不登校にならないようにするためにはどんなことに気をつけたらよいのでしょうか?」と質問されることがあります。不登校状態になってしまう子どもにはそれぞれ事情があり、百人子どもがいたら、その背景も百通りです。もし、我が子が学校に行きたくないと言って、朝起きようしなかったとしたら、親としてどうすればいいのか当然悩むでしょう。

実際に親御さんから「ずっと学校を休んでいるのですが、朝起こしてもいいのでしょうか?」という質問も受けます。朝起こそうとすると子どもが不機嫌になったり、荒れたりするため、起こさずにそのままずっと寝かしてしまうようになる家庭もあるのです。中学生や高校生で不登校になった我が子が、自分で朝起きられるようになるには親はどう関わればいいのか。この問題を解決するために私は親との面談を何度も繰り返します。

不登校の子どもと関わって問題だと感じることは、心理的なことよりも、むしろ朝起きられないがために、せつかく受かった高校や大学を退学してしまうという現実です。生活習慣は一朝一夕で身に付くものではなく、幼いころからの積み重ねが何より大切です。朝起きられないことで、せつ

かくのチャンスを失い、自信を失ってしまった若者を見ると残念でたまりません。



親御さんたちには朝気持ちよく起きる習慣づくりを大事にしてほしいと思います。子どもが小さなうちから、目が覚めると同時に「おはよう」と言う言葉と、お母さんや

お父さんの笑顔が目の前に現れれば、子どもにとって、朝起きるということがとても心地よいものになります。「早く起きなさい!」といった言葉ではなくて、「7時よ!」という明るい声で子ども達が自分から起き出し、一日のスタートを切れればどんなにいいでしょうか。そして、新聞を取ってくる、パンを焼く、

Thank you!



ご飯やお味噌汁をよそうなどといった年齢にあった手伝いをさせてください。「ありがとう」「助かるわ」といった言葉を親からたくさんかけられて育った子どもは、自然に手伝うことを覚え、他人を助けられる大人に育ちます。不登校やひきこもりの子ども達に共通して見られる点は、お家の人の手伝いをした経験が圧倒的に少ないということです。親が笑顔で「ありがとう」と言うだけで、小さな子どもは喜んで手伝うでしょう。大きくなってからではなく、小さなうちからの習慣が子どもの将来を支えるものとなるのです。



相談窓口は
こちら!



教育や子育てに関するご相談・ご意見等お受けしています。気軽にお電話下さい。

花巻市教育委員会 TEL.0198-45-1311

- 学校教育課(内線362) gakkyo@city.hanamaki.iwate.jp
- こども課(内線342) jidou@city.hanamaki.iwate.jp
- こどもセンター(TEL.0198-21-4388)

保護者の皆さん

地域の皆さん

園の皆さん

No.6

平成30年12月17日(月)

花巻市
教育委員会

ニコニコガイド

共に
育みましょう!!
花巻市の子どもたちを

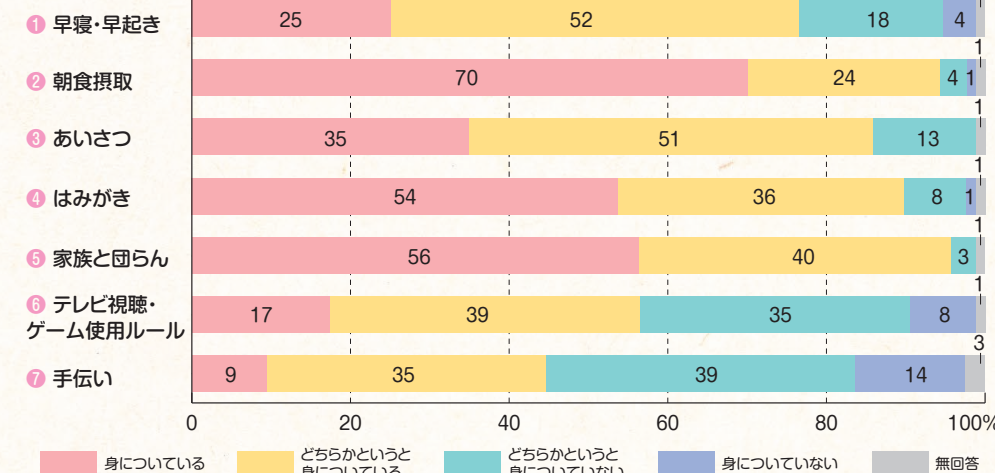


写真:花巻幼稚園
昔話の語りを聞いている子どもたち



H29年度 家庭の教育力に関する調査

平成30年3月実施

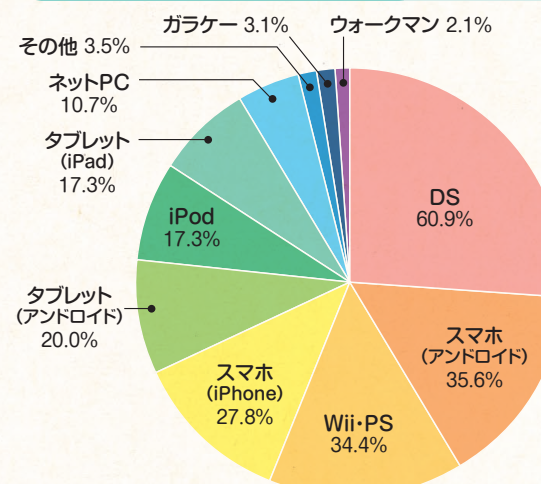


花巻の子どもたちの基本的な生活習慣のうち、「朝食摂取」「あいさつ」「歯磨き」はおおむね身につけています。「早寝・早起き」は改善傾向にあります。小学校に入る前までに身につけたい大切な習慣です。

花巻の子ども達の課題は「お手伝い」と「テレビ視聴・ゲーム使用のルール」です。「お手伝い」は、周囲の大人の働きかけが重要です。子どもが興味をもったことから始めてみましょう。また、デジタル機器は日常生活と切り離せない存在になっています。だからこそ、親子で決めたルールを守ることが大切です。

デジタル機器の使用状況

調査対象のうち、デジタル機器を使用している
81.5%の子どもの使用状況・複数回答



デジタル機器の長時間の使用は、視力低下やコミュニケーション能力の育成への影響などが心配されています。そこで、花巻の子ども達の使用状況について調査しました。

● デジタル機器を使用している子どもの使用時間
平均 平日約34分・休日約1時間31分(最長で平日4時間・休日8時間)

デジタル機器との上手な付き合い方を保育園・幼稚園・認定こども園保護者代表者交流会等で話し合いましたので紹介します。

● 市内の保育園・幼稚園に在席する年長児の保護者を対象に調査を実施、44園、約72%の保護者から得た回答

